

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2019年5月号(第127号)

発行責任者 佐藤 重松



2019.4.25 所沢の自然と農業

寺坂棚田と羊山公園芝桜ウォーク

ところざわ倶楽部主催 文芸講座(連続4回シリーズ)

平家物語“滅びの章”

講師：観世流謡曲名誉師範 竹内好夫

舞
囃
子

祇園精舎の鐘の聲 諸
行無常の響きあり 沙
羅双樹の花の色 盛者
必衰の理をあらはす
奢れる者久しからず
ただ春の夜の夢のごと
し 猛き人もつひには
ほろびぬ ひとへに風
の前の塵に同じ
(第一巻)

- *第1回「重衡」、第2回「巴」、第3回「景清」、第4回「大原御幸」
- *期日：2019年5月27日(月)～6月17日(月) 毎月曜日、13:30～15:30
- *会場：生涯学習推進センター 201号室(所沢市並木6-4-1)
- *参加費：会員1500円、一般2000円、(資料代含む)
- (応募者多数の為申し込み締め切りました)
- 問い合わせ：ところざわ倶楽部 森野(04-2939-9756)、水上(080-6855-5868)

文芸講座案内

能に描かれた『平家物語』の“滅びの章”

観世流謡曲 名誉師範 竹内 好夫



この度、能楽と『平家物語』の関わりについてお話をさせていただく機会を頂きました。ご承知のとおり『平家物語』は、平家一門の栄華と没落・滅亡を主題とした戦記文学で、「盛者必衰」など仏教的無常観、因果観が全編を一貫している国民的古典文学作品です。

私は長く高校で古典の授業を担当する傍ら、能楽の魅力に取りつかれて40年、現在も仕舞や謡曲の稽古に没頭しております。取り分け『平家物語』に取材した能作品には劇的感動を伴うものが多く、演劇化・シナリオ化された作品には原作とは一味違った魅力が満ちています。

『平家物語』が能、狂言、浄瑠璃をはじめとする後世の文芸作品に与えた影響は多大ですが、とりわけ能楽作品には、我が国の室町期に源を発するといわれる茶の湯や禅、水墨画、庭園文化等と通底する中世的な不思議な魅力が感じられます。



「清経を舞う」(国立能楽堂)

今回は4回連続の講座で、能「重衡(しげひら)」「巴(ともえ)」「景清(かげきよ)」「大原御幸(おはらごこう)」の4曲を取り上げます。『平家物語』の基調として「滅びの美学」が流れているとされますが、この4作品にはそれぞれ違った「滅び」が描かれています。その種々相がどのように能作品として舞台化されているかを考察してみたいと思います。(なお、能「重衡」<別名「笠卒都婆(かさそとうば)」>は500年以上も上演記録のない作品ですが、1983(昭和58)年に観世流・浅見真州師により復曲されました。)

南都焼き討ちを決行した首謀者、平「重衡」の罪障の心。木曾義仲の愛妾で義仲の郎等・今井四郎の妹「巴」が流した恨みの涙。伝説の英雄的武人、悪七兵衛「景清」の老残の末路。我が子安徳幼帝を亡くし、今は大原の里に詫び住まう建礼門院の静謐な悲しみ。それらを「滅びの美」という観点から捉え、『平家物語』の「盛者必衰」に繋げながら読み味わってみたいと思います。

能は平安時代以前の猿楽を受け継ぎ、室町時代に観阿弥・世阿弥父子によって大成されたとされますが、現代社会においては、言葉が難解、型式が窮屈、敷居が高い、などと評されます。しかし、650年の風雪に耐えながら選り抜かれた珠玉の芸術的センスと高い精神性は、現行240曲の中に脈々と生き永らえ、1957年に国の重要無形文化財に、2008年には狂言とともに世界無形文化遺産に登録されました。国際化の波の中で、言葉の壁を超えて多くの外国人が能楽堂に足を運ぶ潮流もあります。能面や能舞台、扇など能楽の基礎的事項とともに、それらについても言及できたら、と考えています。

新会員の声

アジアへの偏愛を加速したい

アジア研究会 鈴木 正明



アグネス・チャンという歌手が以前、インタビューで「あなたは（なにじん）ですか」と聞かれ、「私はアジア人です」と答えたという。立派な答えだ。今、日本人で自分をアジア人と思っている人は極めて少ないだろう。

アジアについてあらためて何か書こうとすると、私は若い頃勤務していたマレーシア、フィリピン、イランで見た人々の風景を思い出す。それらが私のアジア観を作ったのか、アジア観が風景を思い出させるのかそれはわからない。夜、家の前で暗い電灯のもと読書する少女、信号待ちで停車すると寄ってきてチップ欲しさに、無断で車の窓を拭く少年たち、交差点の歩道際に集団で座り

込んで喫煙する失業中の青年たち。

これらの共通項は幸せを求める人々の姿であろう。これが私のアジアへの視点になった。経済成長、政治体制や宗教にのみ偏るのはもうお仕舞にしたいものだ。約50年前の夏、私は第1回学生訪中団に参加して、約2週間この眼で新生中国を見た。その頃はすでに文化大革命が始まる前夜だった。若かった私は記念撮影後、毛沢東に握手を求めた。彼は応じてくれた。

私にもこんな頃があったのだ。今は年老いてしまったが、大好きなアジアについてできるだけ急ぎ、自分なりに総括したい。そのため会の皆さんと穏やかに意見交換したいと願っている。

『市民大学』から『ところざわ倶楽部』へ！

ドラマティック・カンパニー 寺脇 隆



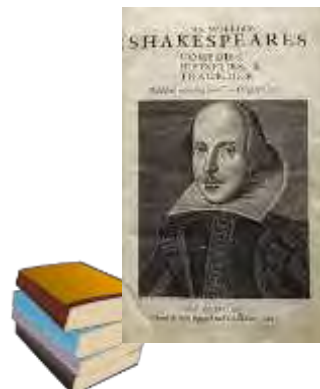
私は3年前の3月末に退職したのですが、現役時代はいわゆる転勤族で地元（所沢）の知人友人はほとんど皆無でした。退職1年後にたまたま市民大学に入学して、それから地元の知人友人ができて大変喜んでおります。

市民大学修了後、いくつかのサークルに入会させていただいたのですが、私の個人的な事情で平日はなかなか参加できないため申し訳なく、今はいったん退会（休会？）させていただいて、月2回土曜日活動のドラマティック・カンパニー（以下ドラカン）のみ参加させていただいています。

ドラカンでは、作曲家・演奏家である笠松泰洋先生のご指導のもと、シェイクスピア戯曲の朗読を楽しんでいます。最初、（入会前の）見学をさせていただいたのですが、先生の解説（脱線？その博識に驚きました！）がとても面白くて、そのまま入会させていただきました。

私は、シェイクスピアの主な作品名（リア王、ヴェニスの商人等）とあらすじは知っていましたが、このような戯曲の朗読は全く初めてであり、不安もありましたが、新しいことにチャレンジしてみよう！と思って、今は楽しく参加させていただいています。

今読んでいるのは『オセロー』ですが、登場人物の心理、その背景など先生の解説を聞きながら、また疑問点は質問し、意見交換などしながら、会員の皆さんとじっくり時間をかけて一つの作品を丁寧に読んでいくのは、なかなか普段はできない贅沢、楽しみかなと思っています。



おすすめの1冊 第2回

オーストラリアの小島をめぐる物語と一冊の本

25期 松尾 基昭



今回この話を取り上げる契機となったのは、小生が25年位前オーストラリアでしていた仕事に端を発しています。

当時、仕事で日系の融資先を開拓中、鹿児島県の配合飼料会社が車エビの養殖をオーストラリアでやりたいとのことで、

当時70才位になれる社長さん自らが、広大な国を相手に、東奔西走されている姿に、思わず日本とか日本人とか言う開拓者魂や企業家精神を意識させられた事を今も思い出されます。

何年か経て、ついにブリスベーンの北40キロ位のバンダバーグというところの未開地の海沿いの所に、養殖地を確保し、車エビの養殖をスタートさせました。私も、現地に赴き現場の実査、事業状況等の調査を行っていた頃、地域全体の様子も調べることからある博物館に行った時のことでした。

その時のことで今でも鮮やかに脳裏に刻まれているのは、潜水ヘルメットを被り、潜水服を着た古いアルバムから出てきた日本人の写真でした。えーなんでこんなローカルの小さな博物館にこんなものが掲げてあるのか、すぐには理解できませんでした。

何やら、明治時代の初期から木曜島という島に真珠取りの日本人が来ていて、当時西洋で高価とされていた、白蝶貝や黒蝶貝取りで潜水夫として活躍していたとの内容の記事でした。

以来、ずっと私の頭から、あんな時代に命のかかった大変な困難な仕事を、何故はるばるオーストラリアの小島にきて行っていたのか、謎のままでした。

その後は、帰国とも重なり、いつの間にか20数年経過していました。こうした中、全くの奇遇とでもいえるかもしれませんが、25期市民大学の課外授業で、今村さんという方が「南洋の小島と真珠」で講演されることを知りレジメを見せてもらった時に、あの20数年前のセピア色の博物館の写真の記憶が、この時、鮮やかに蘇ってきました。

今村さんの話は、今から50年位前に国際援助の一環でオーストラリアでの真珠の養殖事業でこの



新装版 木曜島の夜会
(文春文庫)

木曜島で7年間滞在された時の話で様々な当時のエピソードを交え大変好評な講演でした。

ある時、友人たちとの居酒屋話で、こうした数奇な展開が、世の中にあることを、酒のつまみに話をしていた時に、司馬遼太郎が「木曜島の夜会」という小説でも書いているという話を知りました。

作品は関係者の事情聴取や現地での取材等通じ、日本人の特性等詳細な記述がされ大変読み応えがあり、これまでの謎がここにきてやっと一応の結論を得るに至りました。



潜水ヘルメット

明治時代からの木曜島での日本人の潜水夫中心の仕事は、命がけの大変なものであったと、想像されます。

ただ、潜水作業は白人や中国人には不向きで、熱心で成功への強い衝動や高い賃金への熱望を有する日本人には向いているとか。

しかし、親方と言われる船を持つオーナー稼業は、全体のマネジメント力のある欧米人がほとんどで役割が明確化していたとのこと。

又、後半は夜会の中心人物渡辺さんが戦争の捕虜となりながらも色々な職を得て島で生き抜いてきた歴史をたどり、最後まで日本への望郷の念を忘れられない赤裸々な姿を見事に描写し、感動的な物語となっています。

こうした経緯で出会った本に嬉しさを感じつつも、こんな本との出会い方もあるのかと不思議さも感じております。また、更に、日本とか、日本人とかについての一層の深い興味が湧いてくる契機にもなりました。

「戦争と平和！」

第 11 回

沖縄のアブチラガマ

当麻 実

とうとう戦争中の話を聞かないまま…

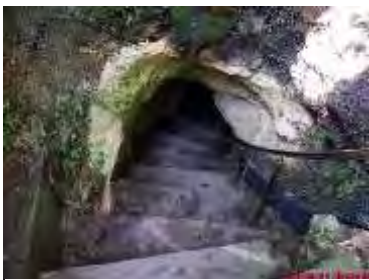
2019 年 2 月 24 日、沖縄県の辺野古新基地建設に伴う埋め立ての賛否を問う県民投票で反対票が 72%を超えた。それでも連日、大量の土砂が米軍キャンプ・シュワブ沿岸部に投入されている。安倍首相は「投票結果は真摯に受け止める」といいながら、民意を無視して工事続行。首相のむなしい言葉が響く。

私が幼い頃、父はカーキ色の国民服をいつも着ていた。明治生まれの両親からとうとう戦争中の話を聞かないままに終わってしまった。親から子への伝承がないまま時が過ぎてしまった。いまから思うととても残念だ。私が戦争と平和を考えはじめたのは二十代に入ってからだ。

かつて私は歴史の事実を直視しようと、植民地支配下の朝鮮、侵略された中国でなにが行われたかなど、その戦跡を訪ね、生き証人の話を取材したことがある。たとえば 1932 年の平頂山事件。日本軍によって、中国・撫順炭鉱近くの村人が大量虐殺されて、何百という遺骨がそのまま保存陳列されている記念館。

暗闇の凹凸のガマで何が起きたのか？

2004 年秋、私はひさしぶりに沖縄を訪ねた。そ



沖縄のアブチラガマ

こで忘れられないガマ(自然洞窟)での体験をした。場所は、沖縄南部の玉城村(現・南城市玉城)にある糸数アブチラガマに入ったときである。

現地の人にこのガマを案内された。懐中電灯をたよりに曲がりくねった凹凸の激しい壕内で戦争中何が起きたのか、暗闇のなかで説明を受けた後、「一分間黙とうして下さい」といわれた。その瞬間、阿鼻叫喚が頭のなかをよぎり、真っ暗闇のシーンとする静かな凹凸の地で、天地がわからないまま立っているかのような錯覚に陥った。この暗闇のじめじめした自然壕のなかで沖縄守備隊や住民が想像を超える悲惨な体験をしたのかと思うと胸が痛む。

沖縄にはガマとか壕といわれる自然洞窟がいた

るところにある。この玉城にあるアブチラガマ(糸数壕)でも、沖縄戦の悲劇が起きた。1945 年 4 月、米軍は沖縄中部の西海岸に上陸。数カ月にはわたって日米の地上戦がくり広げられ、二十数万人が命を落とした。

このアブチラガマには米軍が上陸する直前、洞窟陣地として木造の兵舎等が建設され、壕内に慰安婦が 5、6 人いたという。暗闇の洞窟内に慰安所があったと聞き、人間の性のすさまじさを感じた。

米軍上陸によって戦局の悪化、このガマは南風原陸軍病院の糸数分院として使用されるようになった。16 歳以上の女子生徒が戦場に動員された「ひめゆりの悲劇」は有名だ。この洞窟病院にも、十数人のひめゆり学徒看護隊が送られた。つぎつぎとガマに運ばれる傷病兵、この暗闇の洞窟内は阿鼻叫喚の世界といえよう。

かたく口を閉ざして亡くなった体験者

このガマには数百人から千人近くの傷病兵が収容されていた。麻酔なしの手足の切断をとっても、「痛い！ ヤメロ、ヤメロ！ 殺せ、殺せ！」という声が響きわたったに違いない。切断した手足や死体を運ぶのも看護隊の仕事だ。戦局はますます激しくなり、5 月下旬にはこの糸数分院は撤退した。だが、見捨てられた重症患者には青酸カリが渡され、まだ多数の避難民も壕内にいた。6 月になると米軍はアブチラガマを大砲、黄燐弾を使い総攻撃、壕内の悲劇はさらにつづいた。アブチラガマに親戚が投降を呼びかけても「スパイ」とみなされ、暗闇の壕内から発砲され、亡くなった村民もいるという。

自然壕の糸数アブチラガマは小さな入口だが、全長 270m、奥に入ると高さは十数 m もある。このなかで多数の傷病兵、避難住民などが攻撃にさらされ、恐怖におののき、ギリギリの極限状況に追いこまれた。

戦争は人々の心になにを残したのだろうか。戦争中の惨禍を「思い出したくない」と、かたく口を閉ざして亡くなった体験者は多いという。それだけ戦争は人々の心を痛めつけた。だが、勇気をもって後世のために体験を話す人もいる。暗闇のアブチラガマに入って、戦争の悲惨、平和の尊さをあらためて実感させられた。

特別会員寄稿

世界を旅して気がついたこと

作曲家 演奏家 笠松 泰洋

私は、2018年度の文化庁文化交流使という立場に選ばれた。これは、最低1ヶ月、最長1年、海外に行って文化発信をしてくる、というものである。その訪問国、内容等は任せられている。私は、エクアドル、アルゼンチン、チリ、ペルー、イギリス、オーストリアを訪問し、そこで各地の演奏家に自分の曲を演奏してもらうコンサートをするということにした。



ロンドン、グローブナーチャーチでの
笠松作品コンサート 2019. 1. 18

ウィーン以外では、私の弦楽四重奏の曲を中心にコンサートを行った。言葉も通じない国、初めての風土、初めて会う演奏家。そして、ほとんどの演奏家にとって初めての日本人の曲。私は自分の作品の中でも、和の要素が強いものを意識的に選んだ。文楽に基づく「ソネザキ」という曲と、能舞台をイメージした「幻能～雪・女」という曲が入っている。これらの曲を各国の音楽家と一緒にリハーサルして、コンサートを迎える。きっと国毎に、全く印象が違う演奏になるのだろう。そう期待していた。

予想とは違うお客様の反応だった。チリでも、ペルーでも、ロンドンでも、そこに在住する日本人のお客様は同じ感想を述べた。「チリの若い女性たちが、あれほど日本的な情緒を生み出せるなんて、驚きました。」「イギリス人の若者が、あれほど日本的な感じを深く出せるなんて、どれだけリハーサルをしたのですか？」等々。例えばチリの人が演奏すると、私の作った曲は、全く違った感じになる、という結果を私は期待していたが、結果は逆だった。

音楽とは言語に近い。共通のルールに基づき、楽譜という台本が書かれ、演奏家はそれを読み、演奏する。音楽のルールは明確であり、皆、同じ楽譜を同じように読む。それを演奏する技量は人によって様々である。

当然上手い、下手はある。一方、音楽には、それが表現する内容があり、それは人間の感情、感覚に基づく世界である。お客に伝わるのは、実はほとんどこちらの方なのだ。技量の差より、内容が切実に伝わるということの方がずっと重要なのだ。

今回実感したのは、音楽が表現する内容とは、環境、言語、文化の違いよりもっと根源的なことだ、という事実だった。不安、喜び、期待、驚き、悲しみ、諦め、希望……。そういったことは、人間が皆経験するものであり、演奏家が理解すると、それはそのまま音として表現される。人間が生きる仕組みに根ざした感情に、音楽の内容は立脚しているのだ。人種、言語の違いは、人間という生き物にとって本質的なものではなく、社会的な付帯状況に過ぎない。故にその差は音楽では問題にならないのだ。音楽が表す人間の状況が理解されれば、国籍、年齢、性別、民族性など一切関係なく、近松門左衛門の描いた男女の苦しみも、雪女と人間の男の恋の話も演奏出来るのだ。和の要素はメロディー、リズムに宿り、それはそれなりの技量があれば、誰でも出来ることだったのだ。



ウィーン、ダスオプシアターにてオペラ「人魚姫」
英語版初演のカーテンコール 2019. 3. 22

音楽は世界の共通語、という言い方の本当の意味は、音楽は人間が生きる仕組みに立脚しているから、その内容は世界共通だ、ということだったのだ。日本人でもバッハやショパンの素晴らしい演奏が出来る、ということでもある。音楽は、言語、政治、宗教、経済といった制度を超えて世界を繋ぐものなのだ。それなら、人生を賭けるに値するものだ。今回は、それを確信した旅となった。

笠松泰洋先生 文化交流使帰国報告会
日時 6月14日(金) 14:00～16:00
会場 中央公民館 3F 8・9号室

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

6月14日(金)13:00～13:30 中央公民館 例会、
13:30～15:30 及川道之先生講義「古事記上巻⑨」
(4月～7月4回シリーズ)“聴講者大歓迎”
6月27日(木)11:00～ 場所:国立能楽堂、能楽鑑賞

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

5月22日(水)13:30～16:00 中央公民館
時局放談会(分科会&全体会)その2
6月19日(水)13:30～16:00 中央公民館
テーマ未定

3. 活きいきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

5月22日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 101
少子化問題について学習予定
6月26日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
出前講座聴講検討中

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

5月7日(火):R.シュトラウス歌劇「ばらの騎士」
カルロス・クライバー指揮・バイエルン国立管弦楽団
6月4日(火):「ジャズ」、「ファド」、「民族音楽」
両日とも 13:15～ 中央公民館3階8・9 学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (園田 ヒロ子 090-4005-1882)

5月21日(火)8:00～16:00 予定 豊洲市場他 視察船
(新東京丸)乗船と豊洲市場見学(環境サークル・他コラボ)
6月18日(火)10:00～12:00 ふらっと
出前講座・発酵食品の講座 安部講師 他サークル参加歓迎

6. 地域の自然を考える会 (岩本 賢次 2923-9324)

5月28日(火)10:00～12:00 12号地保全整備 倒木・落枝の
処理・整理、残渣置場の整理・修復、間伐など
ご希望の方、北中グランド西側のトトロ 12号地に、参集くだ
さい(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

5月21日(火)定例会:休み、新東京丸による東京港施設及び
豊洲市場見学会を食トコに同行
6月18日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 定例会:環境持寄
り学習、ところざわ倶楽部まつり展示内容検討

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

5月10日(金)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室
定例会 議題 第2回「市政 ひよこ塾」内容検討ほか
5月11日(土)、25日(土)13:00～15:00 見学大歓迎
SP チアダンス練習日 中央公民館、新所沢公民館

9. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

5月9日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
5月21日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備
5月31日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣散策路整備

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 (小川 雅愛 2907-9476)

5月19日(日)8:45～16:30 所沢駅集合～寄居へ
「鉢形城歴博・城址見学と北條まつりをたのしむ」～所沢帰着
6月6日(木)定例会活動 10:00～14:00
「紫陽花の鎌倉街道ウオーク 山口・小手指ルートを歩く」

11. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

5月18日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室7号
5月25日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室2号
シェイクスピア「リチャード3世」(松岡和子訳)をスタート

12. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

5月14日(火)10:00～12:30 西新井町会館
洋画「ひまわり」(70年)ソフィア・ローレン、マストロヤンニ
5月28日(火)10:00～12:30～15:00 西新井会館
邦画「あん」(15年)亡き樹木希林、市原悦子 共演
⇒季節の歳時記:端午の節句 期待の料理?!

13. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

5月27日(月)13:～16:00 こどもと福祉の未来館(多目的室)
講座・「幸せを呼ぶ終活について」
講師—行政書士・磯村修世 氏

14. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

5月20日(月)14:00～16:30 新所沢東公民館
市議選アンケート結果についての自由討論、
会員フォーラム 村瀬氏
6月17日(月) 会員フォーラム 平塚氏ほか

15. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

5月17日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
ボランティア活動室2号 定例会 ①6～8月活動計画
②民話読み合わせ「河童のお伊勢参り」「塚ノ越地蔵」
6月21日(金) 定例会

理事会報告

4月8日(月)第5回理事会を開催
・佐藤会長コメント 時局講演会、文芸講座を満員にしましょ
う。参加者が多いほどイベントの価値が上がります。他のOB2
団体や一般にも募集をかけます。みなさんのご協力を!
・「時局講演会」5月14日(火)13:30 開演 新所沢公民館
元駐スイス大使 村田光平氏 “福島原発、母性文化と平和
について”
・「文芸講座」当号1P、2P 参照
・ところざわ倶楽部祭り実行委員会 3回開催 舞台での演芸、
サークル発表、サークル活動・個人作品の展示など 昨年の
反省に基づいて全体を盛り上げる方策を色々議論している。
*開催会場候補の松井公民館の調査を兼ねて、次回理事会・実
行委員会を以下のように開催します。
第6回理事会 5月13日(月)10:00～12:00
第4回実行委員会 同日13:00～15:00 共に松井公民館

みんなの広場 第13回

民話の会 佐藤 美津子

花の顔

みなさんは、「花」に顔があるのをご存じですか？

アジサイの花にも、バラの花にも、庭や畠に咲く菜の花にもみんな顔があります。

庭に咲くアジサイの顔を探がしましょう。まず、アジサイの一本の下の方を持って、自分の前に立てます。よく眺めて下さい。

左の方へ静かに廻して下さい。次に右の方へゆっくり廻して、花が一番美しく見える所があります。そこが「花の顔」です。花びら一枚一枚が生き生きとして話しかけているように見えませんか？

バラの花にも、菊の花にも、その他全ての花に顔があります。探してみてください。

葉には、裏と表があります。前のように一枚持って左へ右へと廻します。緑がつやつやした方が表です。緑が白ぼく見える方が裏です。(一般的に)花と同じように顔が見えます。濃い緑の表を使うと強さが出ます。うすい緑を使うことによってやわらかさが出ます。花の顔と葉の強弱を組み合わせると、深みが出ます。工夫して考えビンでも、ペットボトルでも器にして生けてはどうですか？生活に豊かさ、楽しみが出るにちがいありません。

やってみては如何ですか。



むさし野作品抄

(三十一年 四月)



スニーカーの稚児行列や花祭
木登りの歓声包む花吹雪
燕の巣馴染みの菓子屋閉ぢにけり
朝桜マリアの如く丘の上
草の芽や歌を読み解く万葉園
鉄塔の向かう秩父嶺棚霞
春北風を逃れ谷中のコーヒー屋
本抱へ学び舎目指す春の朝
風神の溜息ほどの花吹雪
花吹雪大きな顔の犬にふる

小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
高光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子

よく見れば凡字に似たる蝌蚪の群
伊予は春猫が番する骨董屋
潮干狩夢中の子等の尻濡れる
花冷えや利休ねずみの隅田川
井の頭水こんこんと桜どき
花ちるや大見得を切る村歌舞伎
涅槃西風巡る円墳陣屋跡
筈と一目でわかる包かな
山桜樹下に明日の予約席
風向きは寺の屋根へと飛花落花

橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
鈴木 征子

《編集後記》

木々に青葉茂る新緑の季節となった。広場5月号は新元号「令和」の記念すべき第1号となる。元号の出典は現存する最古の歌集「万葉集」で、日本の国書からの採用は確認できる限り初めてとのこと。▲元号は明治以降一世一元となったが、古くは天変地異や疫病の流行などを機に変えられることも多かった。「平成」は戦争のないまま30年4か月の幕を閉じたが、地下鉄サリン事件、阪神淡路、東日本大震災等の国難に見舞われた時代でもあった。新元号への思い、「人々が明日への希望とともに、それぞれの花を咲かせることができる日本」が実現するよう、平和な時代となることを願うばかりだ。▲出典のもととなった「万葉集」が大人気となっているようだ。広場でも新企画「おすすめの一冊」が開始され、5月より文芸講座「平家物語」が開かれる。古典文学を味わうのにはちょうど良い機会かもしれない。

(川上 記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳(四十二) 作品発表 選 中島峯生

課題「生協」

生協の宅配を待ち晚ごはん
生協でーすいつも届いた熱い声
忙しいママの注文サプリのみ
生協食百歳寿命下支え
腕を組む老けた夫婦は支え合い
生協は言うは易いが難しい

「自由句」
グレーヘア流行後押しあこがれる
四年生副班受けてくしゃみする
忙しい妻庭弄り暇潰し
上下する気象に合わせぬ寒暖計
万葉集お呼びがかかりサクラ咲く
夢を追ひ昭和平成もう令和

突庵方鼻どりん
拍閑・うんご好き
子子声し

突庵方鼻どりん
拍閑・うんご好き
子子声し

次回(第43回) 課題「相談」そして「自由句」、
締切り日: 5月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp

FAX04-2928-